

2017春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス No. 5

2017年2月8日

日本鉄道労働組合連合会

「民主化闘争」「組織強化・拡大」と連動した 「2017春季生活闘争」の勝利を！

— ジェイアール・イーストユニオン第3回中央委員会 —

ジェイアール・イーストユニオンは2月6日、都内「田町交通ビル」において、第3回中央委員会を開催し、「安全で安心して働ける企業風土をめざし、労働組合のあるべき姿を考え、変革に挑戦・達成しよう！」をスローガンとする、当面の活動方針を決定した。

執行部を代表して菅野委員長は、安全最優先の決意をあらためて表明するとともに、春闘については「ベア3,000円を含む月例賃金総額6,000円以上の引き上げ、夏季手当3.2ヶ月などを正々堂々と掲げて闘っていく」と決意を述べた。また、民主化闘争について「イーストイノベーションからの組織変革を図り、36協定問題やスト権問題で揺らぐJR東労組に対し、JR連合と民主化支援単組との強い連携のもと、あらゆる手段を講じて徹底した組織拡大の取り組みを図る」と所信を述べた。

質疑では、7名の中央委員から、安全、春闘、只見線・山田線問題、業務課題のほか、36協定問題やスト権一票投票で現場の不平・不満が広がっている実態、あるいは民主化闘争に臨む決意などについて発言があった。

執行部からは秋山副委員長があらためて民主化闘争にかける思い、取り組みを訴えるとともに、国井事務局長は、民主化闘争などの諸課題について、総括答弁を行い、「JR発足30年、JR連合結成25年の節目に、2017春季生活闘争と連動させ、組織拡大を図ろう！」と述べた。

委員会宣言を全会一致で採択し、最後に菅野委員長のガンバロウ三唱で委員会は成功裡に閉会した。